



MANAZURU

議会だよりまなづる

No. 45

2014年(平成26年)

11月1日発行



私

の好きな場所

「よさこい大漁フェスティバル」

撮影者：神野秀子さん

真鶴よさこい大漁フェスティバルにて、地元のチーム、ぼんぼんざめの演舞です。今年は11チームが参加しました。

C

目次 Contents

9月定例会報告

本会議・委員会審議結果 2～11P

一般質問 12～15P

議長の部屋 16P

トピック 16P

告知

議会報告会 開催のお知らせ

日時 11月12日(水) 午後6時30分より

会場 真鶴町民センター3階 講義室

報告内容は町議会の活動に関する事項などです。

神奈川県真鶴町議会

〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩244-1

電話0465-68-1131(内線360)

info-center@town-manazuru.jp

発行/真鶴町議会

編集/議会広報特別委員会

ご意見ご感想をお寄せください

9月定例会

9月9日～26日
定例会開催

9月定例会は、副町長の選任、平成25年度決算の認定、補正予算などの審議が行われた。

 副町長の選任について

全員賛成

副町長に、青木剛氏を選任することとなった。

二見 今回選任の副町長報酬も、町長・教育長と同様にカットするのか？
町長 そのとおりである。
光吉 副町長を選任する理由は？
町長 就任以来2年、その間、副町長を置かないと言ったことはなく、適任者がいればいつでも求めると言ってきた。

自分が庁舎を出る機会も多くなり、副町長がいないと、何かがあった場合に町にとってマイナスになるし、参事では副町長という立場に立った発言が出来ない、参事自らの仕事も溜まってくる、さらに先に進むためには

副町長が必要と考えた。

 教育委員会委員の任命について

全員賛成

脇山亞子氏の任期満了に伴い、同氏を再任することとなった。

 公有水面埋立てに関する意見について

全員賛成

岩漁港施設用地（物揚場）の埋立てについて、県知事からの意見聴取に対し、町が異議ない旨回答することとなった。

村田 環境アセスメントについて説明を。

産業観光課長 岩漁港は真鶴港ほど付着動物が多くなく、希少動物自体存在しないと思われるとの申請をした。

元々、物揚場で頻繁に船の出入りがあり、自然に与える影響は少ない。埋立てを行わない施行方法より海底の掘削量が減少し、水の濁りも少なくなることから、海底に生息する「蛭藻」等に悪影響はないものと思われる。

 平成26年度真鶴町一般会計補正予算（第2号）について

全員賛成

歳入歳出に1億1307万1千円を追加し、総額を31億6613万7千円とした。

村田 農地台帳システム改修の目的と町の農地の現状は？

産業観光課長 農地の場所等をインターネット検索できるようにするもので、農地を貸す意向や耕作状況等も掲載できる。

農地の現状は、農地面積82％、農家戸数56軒であり、耕作放棄地はここ数年増加している。

村田 検索開始時期は？
産業観光課長 今年度中にシステムを導入し、耕作状況や農地を貸す意向調査等をし、来年度以降開始となる見込みである。

村田 町道内の樹木伐採を要望してもなかなか対応してくれないとの声を時々聞くが、町民から言われてやるのではなく、町が率先して行うべきだ。

まちづくり課長 車の通れる部分は日頃からパトロールを行っている。

車が通らない所は十分にパトロールを行えていない所もあるが、町道内や傾斜面からの樹木張出枝伐採作業を定期的にを行っている。

半島内町有地は、産業観光課・総務課等が定期的に管理を行っている。

村田 予測を立て伐採していくことは？
まちづくり課長 大型の危険木や太い枝は予測して伐採している。定期的な伐採、剪定等のできるものは随時、町職員が行っている。

県道や国道135号線についても、町から道路管理者に連絡している。

二見 活性化センター準備状況は？
産業観光課長 改修計画の設計が終了し、11月末までには改修工事が終了する見込みである。

近隣及び観光協会、事業者、商工会に対し説明会を行い、運営計画について、観光協会、商工

会、水産加工関係者等と協議会を開き検討し、12月最初のオープンを目途に進めている。

黒岩 今後この補正の範囲内で進めていき、赤字は作らないか？
産業観光課長 予算通り進んでおり、現段階での増額は考えていない。

光吉 町営住宅修繕料が補正前と比較し20%以上増えているが予測できなかったのか？
健康福祉課長 ドアフォン一体型ガス警報器の使用期限切れが判明したもので、予算措置を行った。

光吉 古くなったインフラの修繕負担が、将来どの程度膨らんでいくのか？
予測は行っているか？
総務課長 インフラの耐用年数が大きな問題となっており、町財政計画の中に維持管理経費を組み込む計画を立てなければとは考えているが、現状では、補修にかかる経費まで把握が出来ていない。

まちづくり課長 橋りょう長寿命化修繕計画を作成し、今年度は、真鶴橋

の修繕を実施しており、今後も、その重要度を考慮し年次計画を立て実施していく予定だ。

光吉 活性化センターは、当初図面のデザインで進める計画か？
産業観光課長 区画割などに変更はないが、外観は、美の基準等に照らし合わせ、お客様を呼べるデザインを考えている。

海野 町有土地貸付料還付金について、25年度末未入額が26年度に入ってきたので、その分を支払うものか？
総務課長 4月・5月2カ月間の出納整理期間入金分で、湯河原町持ち分に応じ支払うものである。

岩本 予防接種事業（水痘、高齢者肺炎球菌）について、具体的にどのような計画で進めるのか？
健康福祉課長 水痘は1歳から3歳に加え、26年度限りで5歳まで、高齢者肺炎球菌は、65歳から5歳刻みで100歳までと100歳以上が対象である。

ある。

質疑応答

**平成26年度真鶴町
国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）について**

全員賛成

歳入歳出に2360万円を追加し、総額を13億339万9千円とした。

**平成26年度真鶴町
国民健康保険事業特別会計（施設勘定）補正予算（第1号）について**

全員賛成

歳入歳出に66万4千円を追加し、総額を1億617万7千円とした。

**平成26年度真鶴町
下水道事業特別会計補正予算（第1号）について**

全員賛成

歳入歳出に110万3千円を追加し、総額を2億459万1千4百円とした。

**平成26年度真鶴町
介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について**

全員賛成

保険事業勘定の歳入歳出に443万5千円を追加し、総額を7億4981万6千円、介護サービス事業勘定の歳入歳出に31万6千円をそれぞれ追加し、総額を366万2千円とした。

**平成26年度真鶴町
後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について**

全員賛成

歳入歳出に283万2千円を追加し、総額を1億698万9千円とした。

監査報告

監査委員より、平成25年度真鶴町一般会計、6

特別会計、水道事業会計

決算についていずれも適

正との監査報告があった。

なお、水道事業会計決算書の記載に一部誤りがあり、再発防止に向け、

会計処理チェック体制の構築と整備、会計事務研修を行うこととなった。

**決算の認定について
（平成25年度真鶴町一般会計決算）**

全員賛成

【歳入】
高橋 町税の収入未済額が予算規模の約10%、財産運用収入の収入未済額も約40%であり、合計額は1億円を超えている。

収入未済額の推移は？
税務収納課長 平成21年度がピークで約1億900万、以後減少傾向で平成25年度は約9400万である。

総務課長 財産運用収入の収入未済額は町有土地地賃地料で、対前年比2

00万ほど増えている。

高橋 収入未済額解消に向けての施策は？

税務収納課長 滞納者に、文書催告、電話催告、夜間・休日訪問による納付を促し、併せて、財産調査を実施し、財産の差押え等の処分により滞納の整理に鋭意努めている。

無財産、生活困窮、所在不明等により徴収困難と判断した場合には滞納処分の停止もある。

税負担の公平性が失われることのないよう収入未済額の減少に努める。

高橋 土地賃地料滞納時の取扱いを契約に盛り込んでいないのか？

総務課長 賃地料については差押えが出来ない。まずは借主、二次的には連帯保証人による代替納付で確保する契約内容となっている。

高橋 地方交付税が当初予算と比べ1億円ほど増加しており、普通交付税と比べ特別交付税の割合が比較的高い要因は？

企画調整課長 地域の特殊事情を考慮し、衛生組

合最終処分場と診療所にかかる経費が当初見込みより5000万円程多く認められた。

光吉 法人税割が33%減の理由は？

税務収納課長 それまで法人経営だった企業が経営形態を変更したことが原因である。

光吉 景気倍増計画を進め、町が行う事業売り上げは増えているとの報告があったが、民間の活性化への施策はないか？

町長 確かに人口が減り、法人も減ってきているが、利子補給や商工会との連携・協力を行っていく。

黒岩 差押の現状は？

税務収納課長 町税・国保税・介護保険料・後期高齢者保険料を合わせて、23年度21件、24年度67件、25年度60件で、内訳は、給与3件、預金口座18件、生命保険19件、損害保険3件、年金2件、不動産9件、売掛金等4件、家具等1件、賃借料1件である。

差押効果は、延滞金や自主納付分も含め、25年

度約1192万円で、過去に差し押えた年金や給与は支払毎に換価しており、その効果も含め約2400万円の収納効果が出た。

黒岩 23年度に比べ、24・25年度は約3倍に増加している。

生活の糧になる賃金や年金を差し押さえることについて、どのように考えているか？

税務収納課長 23年度に収納対策課ができ、滞納情報を共有することで処分を推進できたこと、知識や経験の豊富な県からの短期派遣職員の活躍に加え、職員のスキルアップが件数増につながった。

最低生活を維持する金額は残さなければならぬとの法規定に基づき差押金額を算出している。

黒岩 差押の多い順は？

税務収納課長 25年度の換価・充当納付金額では、固定資産税、町県民税、国保税の順である。

介護保険料・後期高齢者保険料はない。

板垣 広報広告料が大幅



9月定例会

に増えている理由は？

企画調整課長 広報の広

告掲載のお願いに努めた。

村田 自殺対策事業は、

毎年、パンフレット作成、

のぼり旗を立てるなどで

あるが今年も同様か？

健康福祉課長 25年度は

啓発物品作成や消耗品、

3連スクリーンの購入を

行い、26年度はこれらを

使用した啓発活動を計画

している。

【歳出】

高橋 町公式ホームページ

にリンク切れ等の不具

合が何度も見受けられる。

運用は、委託事業者が

行うのか？

企画調整課長 各課から

の更新依頼を業者が処理

し、情報センター担当が

確認すべきところ見落と

しがあつたのではないか

と思われるので、早急に

対応する。

村田 ラスパイレス指数

が90・2%と低い？

総務課長 現職員に支払

っている給料に基づき算

出されるもので、規定に

基づき昇給していく給料

を急激に上げることが出

来ず、給与体系を変える、

あるいは政治的に取り組

まない限り不可能である。

村田 住宅用太陽光発電

促進事業の県補助金事業

は終了し町単独で行われ

ているが、今後の計画と

導入実績は？

町民生活課長 県内全市

町村同内容の補助金制度

で、他の市町村の状況を

見ながら判断していく。

導入実績は21年度1件、

22年度5件、23年度9件、

24年度7件、25年度3件

である。

光吉 通常、リース会社

が確認する情報センター

複写機の使用状況を職員

がリース会社に連絡して

いるが、職員に余計な負

荷がかかるようなものの

有無を確認しているか？

企画調整課長 適切な状

況にあるよう徹底する。

海野 現在、文化財指定

候補はあるか？

教育課長 文化財審議会

で研究等を行っている。

海野 岩稚児神社例大祭

は含まれているか？

教育課長 今年度の審議

会には上がっていない。

海野 町から提案するの

ではなく、審議会が上げ

なければ審議対象となら

ないのか？

教育課長 文化財として

価値があるかを検証し審

議会に図るのが手順であ

り、未だ資料等を集め検

討をしているので、今

後の課題とする。

板垣 琴ヶ浜公衆トイレ

の清掃頻度は？

まちづくり課長 毎日の

清掃は港湾管理員が行っ

ている。

板垣 非常に汚れている

と聞くことがあるが？

まちづくり課長 港湾管

理員に連絡し対応する。

板垣 心の教室相談事業、

不登校訪問相談事業の事

業内容は？

教育課長 心の相談事業

は、真鶴中学校に月々金

曜日の昼休み・放課後に

開設しており、生徒から

気軽に相談できる体制を

整え、人間関係、友達や

勉強、部活動、家庭など

多岐にわたる相談を受け

ており、25年度は53件の

相談があった。

不登校訪問相談事業は、

年間30日以上の不登校児

童・生徒だけでなく、不

登校の恐れや数日間休ん

だ等についても、訪問や

電話連絡、メールでのや

り取りも含め、週4日間、

専属の相談員が活動して

いる。

村田 街灯LED化によ

り、以前と比べ光が広範

囲に届かなくなったとの

指摘があるが、新規設置

申請数と設置数は？

まちづくり課長 蛍光灯

20WからLED8.9Wへの

交換が今年3月に完了し、

光の当たり方は変わった

が、規定の照度は確保さ

れている。

これまでに3灯の追加

設置要望があったが、ま

だ設置はしていない。

26年度当初予算に計上

していないので、補正予

算で対応する場合は12月、

予備費で対応であれば12

月より多少前になる。

村田 町の所有する絵画、

芸術品等は財産に含まれ

ていないのか？

町長 絵画、芸術品等に

ついて、点数は何らかの

形で公表するが、鑑定評

価しても評価額は上下す

るので金額を明らかにす

ることは出来ない。

二見 真鶴半島冬花火大

会を26年度は実施しない

のか？

産業観光課長 豊漁豊作

祭実行委員会で検討した

結果、冬ではなく秋の真

鶴龍宮祭の中で実施する。

青木繁 お林展望公園臨

時職員賃金の内容は？

産業観光課長 一日あた

りパークゴルフ場管理2

名、展望公園内や周囲の

植木等の管理・清掃を行

う展望公園管理員2名の

予算である。

青木繁 パークゴルフ場

収入とのバランスを考え

人員を配置しているか？

産業観光課長 パークゴ

ルフ場の運営自体ではバ

ランスを取っているが、

その他の植木・清掃管理

経費が掛かっている。

高橋 福祉目的や教育目

的の施設を収支バランス

だけで評価することは難

しいが、観光事業等では

きちんと評価しないと、

町からの持出しが多い、

計画と比べ利用者が少な

いなどの実態が見えてこ

ない。

検証状況は？

町長 施設の目的によつ

て異なりはするが、なる

べく収支バランスが取れ

るよう進めていく。

高橋 目に見えることが

大切で、施設・施策・事

業毎の収支バランスを開

示することの検討が必要。

コミュニティ真鶴利用

方法等の検討状況は？

教育課長 多くの町民に

コミュニティの場として

利用していただくことと

し、これまでの定期利用

団体による運営協議会準

備会を開催した。

協議会参加団体に運営

の主体となり、管理・軽

易な修繕を行っていただ

くことで利用料は無料と

すべく協議を重ねている

が、参加団体の高齢化も

あるため、他の利用希望

団体にも呼びかけ、より

多くの町民が使いやすい

施設にするため協議を進

めていく。

高橋 協議完了用途は？

教育課長 協議会参加団体

は既に利用を開始してお

質疑応答

り、それ以外は、総務課と相談の上、利用いただくことになっている。

現在、規約を検討しており具体的な内容を早急に詰めていく。

高橋 使えなくなったと思っている方も多いので、今まで利用されていなかった方へ周知すべき。

町ホームページに掲載されている「入札・契約」は、その公正性を町民に示すものにも関わらず不具合が散見されるので、適正な開示の必要があるのでは？

総務課長 確認の上、早急に対応する。

決算の認定について
(平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定) 決算)

全員賛成

決算の認定について
(平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定) 決算)

全員賛成

決算の認定について
(平成25年度真鶴町下水道事業特別会計決算)

全員賛成

村田 接続の現状は？

まちづくり課長 25年度末公共ます設置個数619個、供用開始205個で前年比2件増。

25年度は真鶴方面に区域を拡大し、マンホールポンプが設置されないと供用開始エリアが増えないことから、整備区域が増えたが供用開始面積が広くならず、既存のエリアへの接続奨励による増加である。

村田 資本費平準化債とは？

まちづくり課長 下水道整備は先行投資が多額であり、当初負担を軽減するため、一部を後年に繰り延べ収入が上がるまで負担を抑える制度である。

決算の認定について
(平成25年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計決算)

全員賛成

高橋 遠藤貝類博物館の施設使用料は？

産業観光課長 光熱費等は案分しているが、施設使用料は発生していない。

高橋 別会計間で施設使用料を発生させなくても良いか？

企画調整課長 建物1階はケープ真鶴、2階は貝類博物館と条例により定めているので発生しない。

高橋 魚座の公債費が26年度で終了すると黒字化するか？

産業観光課長 魚座は約401万、ケープは約554万の赤字であるが、起債償還分約566万を除くと魚座は黒字である。

26年8月見込分までの魚座営業成績は前年度比約200万良くなっている一方、ケープ真鶴は前年度比約18万悪くなっている。

高橋 ケープ真鶴立て直しへの取り組み状況は？

産業観光課長 営業休止中だった食堂の8月1カ月間の借り手が見つかったが、9月以降の継続はいただけなかった。

食堂だけでなく1階全体を借りていただけるよう、環境保全を主眼にしている大手企業への働きかけも行っている。

二見 三ツ石に降りる途中の店舗使用料に多額の残があるはずだが？

産業観光課長 23年4月から24年6月分まで112万5千円のうち、91万5千円残っている。

二見 分割でも継続して支払ってもらおうよう働きかけをすべきでは？

産業観光課長 回収に向け、引き続き努力する。

二見 魚座店舗貸付料の収入未済額は、現在も営業している店舗分か？

産業観光課長 既に退去した2店舗分、いずれも分割支払中である。

二見 ケープ真鶴に入居する観光協会の家賃はとらないのか？

産業観光課長 発生していない。

田中 魚座、ケープ共に収入減に対する認識は？

産業観光課長 以前はケープで干物販売をしていたが、在庫が残ると費用負担が大きく、現在は販売しておらず、今後は真鶴らしい物を取り扱っていくべきと考えている。

魚座ではメニューの変更、地物、朝獲れた魚の使用によるコストダウンに取り組んでいる。

決算の認定について
(平成25年度真鶴町介護保険事業特別会計決算)

全員賛成

村田 不納欠損額が3分の1に減った要因は？

税務収納課長 介護保険料徴収権消滅時効は2年で、前年度に過去数年間で既に徴収権を失っていたものを適正に処理した。

村田 介護認定審査会による認定状況は？

健康福祉課長 新規認定は131件、継続認定は313件、区分変更は12件、合計456件である。

決算の認定について
(平成25年度真鶴町後期高齢者医療特別会計決算)

全員賛成

決算の認定について
(平成25年度真鶴町水道事業会計決算)

全員賛成

平成25年度決算に基づく真鶴町健全化判断比率について

いずれの健全化判断比率も、早期健全化基準を下回っているとの報告があった。

平成25年度決算に基づく真鶴町資金不足比率について

下水道事業特別会計、水道事業会計共に、資金不足はないとの報告があった。



質疑応答

9月定例会



少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2015年度政府予算にかかる意見書採択についての陳情書

賛成少数 不採択

【賛成討論】

黒岩 少人数教育は学習や成長に効果がある。

当町においては少子化が進むと40人定数割れとなり1クラスとなる可能性もある。



集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回を求める意見書

総務民生常任委員会に付託し、継続審査とすることとなった。



「手話言語法(仮称)の早期制定を求める意見書の提出について

全員賛成

【意見書の要旨】

手話は、ろう者にとつてコミュニケーションをとり、教育を受け、働き、生活を営み、人として成長していくために必要不可欠な言語である。

平成18年12月に国連総会において採択された、「障害者の権利に関する条約」において、「言語」とは、「音声言語及び手話その他の形態の非音声言語をいう。」と定義され、手話が言語として国際的に認知された。

我が国においても、平成21年には、政府が内閣府に障がい者制度改革推進本部を設置し、「障害者の権利に関する条約」の推進に向けて国内法の整備を進めているところである。

また、平成23年8月に改正された「障害者基本法」には、「全て障害者は、可能な限り、言語(手話を含む。)その他

の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められ、手話は言語に含まれることが明記された。

しかし、この法律には「可能な限り」という留保がついており、罰則もなく、ろう者が手話で生活する権利を守るには、これだけでは不十分である。

また、我が国においては手話に対する理解も不十分であり、手話を理解する人が少なく、ろう者が情報を入手したり、ろう者以外の者と意思疎通を図ることが容易ではないことが、日常生活、社会生活を送る上での苦勞やろう者に対する偏見及び差別の原因となっている。

さらに、同法では、国・地方公共団体に対して、障がい者の意思疎通のための情報確保の施策を義務付けていることから、手話が日本語と対等な言語であることを示し、日常生活、職場、教育の場で手話を使った情報の

提供やコミュニケーションが保障され、社会に自由に参加できることを目指す「手話言語法(仮称)」を広く国民に知らしめていくことや、自由に手話が使え、社会環境の整備を国として実現する必要がある。

よって、国会及び政府においては、上記の内容を踏まえた「手話言語法(仮称)」を早期に制定するよう強く要望する。

【提出先】

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
厚生労働大臣
総務大臣



議会を傍聴してみませんか

次の議会は
定例会12月11日(木)・12日(金)の
予定です。



頁鶴地域情報センター
でも議会中継をしています。

委員会報告

委員会報告

総務民生常任委員会

 決算の認定について
(平成25年度真鶴町
一般会計決算)

全員賛成 可決

会計課所管

青木 真鶴有料道路回数券販売手数料の内容は？

課長 普通車と軽自動車の回数券売上総額82万円に対する手数料である。

総務課所管

青木 宮ノ前レストハウスの売却予定は？

課長 隣接建物のトイレの有償使用申し出を断った経緯もあり、売却話も立ち消えた。

青木 公募は？

課長 していない。
2階が地区集会所なので、貸す場合も1階部分だけとなるので難しい。
青木 収入が見込める

建物なのにもったいない。PRが必要では？

課長 収入源、観光資源として活用できるので検討する。

高橋 町HPの「入札・契約」の確認結果は？

課長 随意契約案件は、各所管で執行終了後とりまとめ、年2回公表している。

所管課からの報告漏れが原因で、早急に調査をし、追記として掲載する。

高橋 旧保健センターの電気設備等改修工事は、自治会への貸付に必要な改修か、設備メンテナンスとしてのものか？

課長 工業用電圧から家庭用電圧への変更と、入口の自動ドアの修繕で、貸出に対するメンテナンスである。

黒岩 造船所使用料は、賃料の変更があったのか？

課長 変わっていない。過年度分は、滞納繰越分である。

青木 旧保健センターを城北自治会以外が使用する頻度は？

課長 利用状況は自治会でないとわからない。

青木 借りるときには使用料をとるのか？

課長 町有地の貸付の場合にはまた貸しはできないが、地元住民が申請し自治会の許可があれば使用は可能である。

青木 町民がスポーツトレーニングできるような施設にならないか？

課長 廃止に向けた説明会で、基本的には売却し、売却益の一部で公民館に近い施設を造りたいという話はしている。

二見 ヘルメットの耐用年数は？

課長 概ね5年で、今回は10年以上使用していた消防団員のヘルメットを更新した。

企画調整課所管

青木 ふるさと応援基金寄付金の内訳は？

課長 総件数は76件で、1万円以上22件、5000円以上1万円未満53件、5000円未満1件である。

青木 ふるさと応援寄附金に対する謝礼を変更したか？

課長 26年1月1日より、魚座食券券から、連鶴の折り紙ピアス、漁協のか煮、無農薬の柑橘類へ変更し、4月から干物も追加した。

青木 PRは？

課長 ふるさと納税は町外者が対象のため、町HPに掲載している。

青木 寄附額に対するランク付けは？

課長 拡充等を検討中である。

高橋 自治会加入率は50%程度と非常に低い。加入率の低さが町の行事に際し影響が出ているとも考えられ、独立した組織であって、町の責任ではないが、どのように考えているか？

課長 町として直接加入促進に動いているということはないが、転入者に対しては自治会加入の案内をしている。

板垣 箱根ジオパーク推進協議会の活動は？

演会1回、PR活動4カ所、ガイド養成講座3回、ジオツアー8回等を行った。

板垣 ジオパークの中で真鶴町の占める位置づけは？

課長 総合案内看板第1号がケーブに設置された。位置づけについては十分に考えてくれている。

青木 自治法では、財政調整基金積立を繰越金の半分としているが？

課長 財政調整基金は標準財政規模の10%で約2億1000万円となる。

将来、負担が多いときに10%で大丈夫なのかというところで、積み立てられるときに積むことを考えている。

二見 公式HP運用業務委託事業の契約方法は？

課長 随意契約である。24年度までは定料制だったが、委託先から更新に必要な時間での料金体系変更の申し出があり、委託料が5倍以上となるため、数社から委託先を選定し変更した。

二見 町からのデザイン

等の指示は？
トップページは不要ではないか？

課長 契約内容は更新作業で、大規模なりリニューアルは別契約となる。

トップページの評判がよくなければ考えたい。

税務収納課所管

青木 介護保険の不納欠損94件減の理由は？

課長 24年度に、徴収権が消滅していたものを整理した。

町民生活課所管

板垣 猫不妊・去勢手術費助成金の実績は？

課長 不妊22匹、去勢15匹である。

板垣 登録犬数と、全ての犬が注射済か？

課長 428頭で、老犬は獣医師の証明により猶予するケースもある。

板垣 保健所への引き取り要請の数は？

課長 町民が直接動物保護センターに連絡するので頭数は不明である。

板垣 里親や殺処分については？

課長 動物保護センターでの里親や殺処分については把握していない。

青木 眞鶴・湯河原町民の火葬場使用料は無料だが、将来的には？

町長 建設時にもそういう話はあった。

今後、負担がかさんでくると考えなければいけないが、現時点では無料のままいく。

青木 電氣自動車の急速充電器利用状況は？

課長 23年度に補助金を活用し設置、24年6月1日より供用を開始した。

24年度96回、25年度208回の利用である。

高橋 火葬場の建設事業債が2件あり、26・27年度完済予定だが、これ以外の借財はないか？

今後起債を伴うような事業の計画は？

課長 いずれもない。

健康福祉課所管

黒岩 ひとりぐらし高齢者等緊急通報システム委

託料の内容は？

課長 80歳以上の一人暮らし、65歳以上の寝たきりの方がいる世帯に貸与している。

週1回の安否確認を行い、26年3月末18件、使用料は2800円である。

黒岩 支え合い、分かち合い体制づくり事業補助金の内容と、要介護1・2を総合事業として取り組む中で、方向性は？

課長 高齢者が抱えている問題に対して対処することが目的で、社会福祉協議会が主となっている。法改正によりサービスの種類が増えており、細かい部分のサービスを行うが、できるだけNPOやボランティア団体でやっていきたい。

介護保険計画は今年度末に作成するが、その中に内容を盛り込んでいきたい。

黒岩 視察の内容は？

課長 開成町と小田原市のごみ出しや買物ボランティアについて実施した。

黒岩 子ども・子育て支援システム構築調査委託

料の委託内容は？

課長 来年度からの保育の認定にかかる料金見込を算定するための基礎資料とするため、ニーズ調査を実施したものである。

支援システムの構築を含め、支援計画の算定をするために必要なものを委託した。

高橋 障害者自立支援事業等給付費の給付内容は？

課長 15事業に対する補助で、代表的なものは居宅介護、療養介護、生活介護等で、生活介護に対する補助が一番大きい。

高橋 民間の2カ所の保育園の園児数は？

課長 貴船愛児園36名、石田保育園71名である。

高橋 107名に対し約1億円であるから、園児一人に対して100万円の補助となる。

町には町立幼稚園もあり、そこにも公費が投入されている。

課長 民間の保育園、幼稚園

いずれの公費投入額が高いのか？

課長 保育園4400万

円、ひなづる幼稚園全体の支出が3500万円と、保育園のほうが高いが、国からの補助もありどちらとも言えない。

高橋 保育園と幼稚園では保育時間の違いもあり一律に比較はできないが、幼稚園が公立であるがために割高になっているの

であれば、民間保育園でまかなうことにより費用がかからないのではとの声もあるが？

課長 交付税の措置や、国・県の補助もありどちらが安いとは言えない。

保育料等の改定時に、教育委員会とも協議して、どのような形がよいのか検討していきたい。

板垣 敬老会で結婚50年のお祝いの品が贈られて

いるが謝礼は？

課長 町民のボランティアによる。

板垣 材料費程度の配慮は必要では？

課長 確認して、必要ならば予算措置をする。

板垣 重度心身障害児者訪問入浴サービス事業委託料がなくなったのは対

象者がいなくなったためか？

課長 そのとおり。対象者があれば予算付けをする。

二見 検診等で使用する岩集会所のトイレが和式であり、お年寄りから洋式にならないかとの話があったが？

町長 検討する。

青木 嚴 釈迦堂住宅の今後の方向性は？

町長 事業仕分けでも話題となった。

将来は、宅地として分譲するか住宅を造るかにしたいが、住んでいる方の移転先の確保も必要だ。

安全面も考え計画を立てていきたい。

青木 嚴 がん検診の受診率を増やす方策は？

課長 広報を行い、一部対象者にはクーポン券を発行している。

小田原市、下郡3町共

受診率が低いので、小田原医師会とも協議して受診増に努める。

 決算の認定について
(平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)決算)
全員賛成 可決

町民生活課所管

高橋 国民健康保険税の滞納が長期化すると、最終的には無保険状態となるのか？

課長 滞納者には納税相談に来てもらい短期保険証を発行している。

相談に来られない人には無保険の可能性はある。

高橋 相談にも来ない、督促にも応えない、納税しない結果、無保険状態になっている人は？

課長 有効期限が切れた保険証を持っている人はいる。

高橋 有効期限切れとは、更新されていないということだ。

そういった方の有無で

はなく、国保税を納めず、短期保険証から資格証明書に移行し、それでも一定期間納付せずに、資格

証明書さえも使えなく



委員会報告

なったことで、10割負担となった方は？
 課長 そういふ方が通院し、有効期限が切れた保険証を提示した場合、医療機関から町に国保加入者かどうかの確認があり3割負担となる。
 10割負担者は承知していない。
 高橋 国保税の改正により、収支は改善されていくと思うが、改善の効果の見込は？
 課長 25年度3720万円の赤字に対し、改正により収収が3800万円増えたので収支的にはバランスがとれた。
 高橋 税率見直しの先送りが今回の改定率の大きさにつながった。
 人口減や高齢者増に伴い、歳入の減少、歳出の増加が予測され、放置すれば財政破たんを招く。
 今後税率の見直しをしていかなければいけないが、シミュレーションは行っているか？
 課長 保険給付費は21年度8億4500万円、25年度8億5000万円と

横ばい状態である。

歳入は税収減により21年度3億5000万円、25年度が2億8700万円である。

現在、国保の都道府県化に向け、29年度を目途に進んでいる。

町長 国保運営協議会でもシミュレーションが必要との指摘があった。
 3年ごとの見直しをきちんとしていきたい。

決算の認定について
 （平成25年度真鶴町

介護保険事業特別会計決算

決算の認定について
 （平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）決算

決算の認定について
 （平成25年度真鶴町後期高齢者医療特別会計決算）
 いずれも質疑なし
 全員賛成 可決



手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書
 全員賛成 採択

集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回を求める意見書
 賛成多数 継続審査

経済文教常任委員会

決算の認定について
 （平成25年度真鶴町一般会計決算）
 全員賛成 可決

教育課所管

村田 中川美術館の収入が前年度を下回った要因は？
 課長 25年2月16日にテレビ東京で放映があり、来館者が増えたものと考ええる。

村田 来年度に向けて入館者増をどう考えていくのか？
 課長 中川一政氏の誕生日に氏を偲ぶ会や、関係者、著名人に声をかけ、氏を語る会等を考えていく。

村田 中川家との覚書を開示はできないのか？
 教育長 関係者と相談のうえ検討していく。

村田 収益が厳しい中、中川氏以外の作品展示をどう考えるか？
 教育長 審議委員との意見の違もあり、中川一政氏の芸術性をそこなわないよう検討していく。

村田 博物館の企画展の集客の効果は？
 課長 期間中トータルで若干の減少である。

評判は良かったと考えられているが、それが数字に表れなかった。

青木 老朽化した教育施設の修繕を計画化していく予定はあるか？
 課長 今後計画化していきたい。

青木 中川美術館修繕費なども年々増えている中、長期的視点で考えていく必要があると思うが？
 町長 小学校、役場等の修繕費増に対応する建替えなど、いろいろな事に鑑みてやらなければ、やらなくてもいい事もやってしまうような事が起こり得るので、計画をもって取り組むようにしたい。

青木 年にどのくらいの捕獲があるのか？
 課長 昨年はイノシシ8頭、ハクビシン13頭、サル11匹で、民による捕獲が主である。

村田 路線バスの協議会の進展は？
 課長 町民のアンケート等を参考にコミュニティバス、路線バス、タクシーなどを使った利用方法を26年度中にまとめ、27年度にどうしていくか考えていく。
 青木 港湾の管理委託について、県からの委託事業であるが、町での管理は考えているか？
 課長 県とは5年の契約があるが、その後、希望者があれば考えていきたい。
 青木 野猿対策についての費用は？
 課長 追い払い道具、出動に際しての猟友手当などである。
 青木 年々どのくらいの捕獲があるのか？
 課長 昨年はイノシシ8頭、ハクビシン13頭、サル11匹で、民による捕獲が主である。
 青木 屠殺する人が一名しかいなく、一般の人

委員会報告

は処理出来ず埋めてしま
うか、殺すことも出来ず
に放逐することになる。

屠殺施設として食肉セ
ンターが伊豆にあり、そ
こへの搬入に補助金を出
せないのか？

町長 動物愛護の観点や、
畑を荒らされる現実があ
り、それらの事を考えて
捕獲した後の処理を勉強
していく。

青木 農業管理修繕費
の内訳は？

課長 沢尻農道の水止め
工事である。

青木 沢尻農道の拡幅
計画はあるか？

課長 現段階ではない。

青木 拡幅し、三角山
のてっぺんへ繋げること
で、そこは絶景であり将
来の別荘地など町にとつ

て良いのではないか？

課長 農地などの除外
の対策をしなければなら
ず、その段階で考えてい
くことになる。

産業観光課所管

光吉 ふれあい農園の応
募状況は？

課長 24年度10区画のう
ち4区画、25年度は9区
画である。

青木 パークゴルフ場
と公園管理臨時職員の給
与が合算されているが、
経理上、分けるべきでは
ないか？

町長 パークゴルフ場は
事業としては黒字だが、
公園管理職員の人件費を
含めると赤字になる。

事業仕分けでも検討課
題である。

決算の認定について
(平成25年度真鶴町
真鶴魚座・ケープ真鶴特
別会計決算)

全員賛成

産業観光課所管

青木 ケープ真鶴の光
熱費が、24年度より少な
くなっているが？

課長 漏水修繕によつて
水道代が減少したことと、
24年度は、食堂を和食中
心で営業していたものを、
25年度は軽食のみの営業
とし、2月以降は営業休
止としたため、電気代、

ガス代が減少したこと
による。

青木 魚座の売り上げ
から賄材料費を差し引く
と、もっと収益が上がっ
ても良いのでは？

課長 施設管理運営費で
どうしても減らせない部
分がある。

客数の減が大きい。

青木 両施設の人員費
は削減したか？

課長 いずれも削減した。
村田 ケープ夏期駐車場
のアルバイト賃金は？

課長 57万100円であ
る。

村田 駐車場料金がかか
ること、お客様を逃が
してしまつてはいない
か？

課長 収入がなくなるこ
とは厳しい。

2000円以上の買物
をしていただければ無料
としている。

町民からは、夏だけで
なくいつも徴収しろとの
声もある。

村田 貝類博物館の休館
日には、駐車場に休館で
あることを知らせる看板
を設置しては？

町長 設置する。

村田 ケープ真鶴の販売
品は品揃えが悪いとの声
が多いが、アンケートを
行っているか？

課長 アンケートは行っ
ていないが、干物・海産
物という声は耳にする。

以前、干物を置いてい
たが、在庫を抱えてしま
い、収益に結びつか
なかった、日持ちのす
るものが中心となつてい
る。

村田 町民からの出店希
望は？

課長 地元産の野菜販売
の話はあった。

スペースはあるので、
詳細を検討し出来るよう
にしたい。

村田 基金残高が10円で
は自転車操業だが？

課長 指定管理者あるい
は貸付先の募集をして、
民間活力を借りなければ
改善は難しい。

光吉 魚座前の店舗は、
漁協組合員でないと借り
受けられないのか？

課長 水産関係者を優先
するとの規定になつてい
るので、空きが出た場合

には、先ず水産関係者に
声をかけ、希望がない場
合に一般公募となる。

光吉 公平性に欠けるの
では？

課長 水産振興補助事業
なので、水産関係者を優
先している。

光吉 応募状況は？

課長 2件の空きが出た
ので募集し決まったが、
間もなく1件が辞退した
ため、再度募集している。

光吉 他の事業に貸し出
せないか？

課長 都市計画法に定め

る漁港施設のため、水産
関係の販売等でなければ
ならない。

決算の認定について
(平成25年度真鶴
下水道事業特別会計決
算)

全員賛成 可決

決算の認定について
(平成25年度真鶴町
水道事業会計決算)

全員賛成 可決



平成26年 9月定例会 審議結果

会期(9月9日~26日)

議案番号	議 案	採決者数	賛成	反対	議決結果	板垣由美子	田中俊一	黒岩範子	高橋 敦	光吉孝浩	岩本克美	海野弘幸	青木 繁	村田知章	青木 厳	二見和幸
同意第2号	副町長の選任について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
同意第3号	教育委員会委員の任命について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第43号	公有水面埋立てに関する意見について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第44号	平成26年度真鶴町一般会計補正予算(第2号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第45号	平成26年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第46号	平成26年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第1号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第47号	平成26年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第48号	平成26年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第49号	平成26年度真鶴町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
認定第1号	決算の認定について(平成25年度真鶴町一般会計決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
認定第2号	決算の認定について(平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
認定第3号	決算の認定について(平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
認定第4号	決算の認定について(平成25年度真鶴町下水道事業特別会計決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
認定第5号	決算の認定について(平成25年度真鶴町真鶴魚座・ケーブ真鶴特別会計決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
認定第6号	決算の認定について(平成25年度真鶴町介護保険事業特別会計決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
認定第7号	決算の認定について(平成25年度真鶴町後期高齢者医療特別会計決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
認定第8号	決算の認定について(平成25年度真鶴町水道事業会計決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
報告第1号	平成25年度決算に基づく真鶴町健全化判断比率について				報											
報告第2号	平成26年度決算に基づく真鶴町資金不足比率について				報											
陳情第1号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算にかかる意見書採択についての陳情書	10	3	7	不	×	×	○	×	○	×	×	×	○		×
陳情第2号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書	10	10	0	採	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
発議第1号	集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回を求める意見書	総務民生常任委員会へ付託														
発議第2号	「手話言語法(仮称)」の早期制定を求める意見書の提出について	10	10	0	採	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○

採決結果 ○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席(遅刻・早退を含む) 除=除斥
 議決結果 可=可決 否=否決 承=承認 認=認定 同=同意 報=報告 採=採択 趣=趣旨採択 不=不採択



村田 知章
議員

外来生物の対策は？

「外来生物の現状と駆除について」

Q 明治時代以降、多くの外来生物が日本国内に持ち込まれ、それが野生化し、日本在来の生物の生息を侵食する事態が進んでいる。

真鶴町として、町内の外来生物の現状の把握とその対策は？

A 町内の外来生物のうち、要注意外来生物はアメリカセンダングサ、オオアレチノギク、イチビ、エゾギシギシ、オオオナモミ、オオブタクサ、オニウシケグサ、オランダガラシ、カモガヤ、キシヨウブ、コセンダングサ、コマツヨイグサ、シナダレスズメガヤ、セイタカアワダチソウ、トウネズミモチ、ホソムギ、ノハカタカラクサ、ハリ

エンジュ、ハルジオン、ヒメジョオン、ヒメムカシヨモギ、ヘラオオバコ、ムラサキカタバミ、メマツヨイグサ、外来タンポポ群と、ムラサキイガイ、ミドリイガイが確認されている。

また、特定外来生物として、オオキンケイギク、アライグマ、ガビチョウ、ソウシチョウ、アカボシゴマダラが目撃されている。

専門家の意見を聞きながら、環境調査の実施と駆除を考えていく。

カミヤツデの駆除については、平成23年度まで町民の皆様と協力して駆除してきたが、怪我をされる方もいたので今年度は職員で行うことを考える。

Q 環境調査は、いつまでに行うか？

A 専門家と相談の上、来年度に民間と協力して調査を行うことを考えている。

Q 一方で希少種の保護も必要では？

A 専門家の意見を聞きながら考える。

Q 潮干狩りのイベントで、購入したアサリを砂浜にまくことは、在来種の遺伝的な汚染が問題では？

A 外来種ではないものを採って検討する。

Q 園芸品種による定着も問題である。お林ではトキワツクサやツルニチニチソウなど繁殖している。一般家庭にも注意を促す必要は？

A 国・県のガイドラインが必要と考える。広報などで周知を考えたい。



アカボシゴマダラチョウ

一般質問



青木 繁
議員

真鶴中学校での給食実施について

Q 平成25年12月議会において、同じ質問がされ、教育長が回答されたが、その後の進捗状況について説明を求める。

A 平成26年度より検討委員会を設置する旨の回答に基づき、26年4月より教育委員会事務局で検討委員会の概要について協議し、委員会の目的、構成メンバー、検討の視点について検討し、原案を作成した。

次に、教育委員会6月定例会にてこの原案を協議し、「真鶴町立学校給食事業検討委員会」の設置を決定し、今後の中学校給食の検討を行うこととし、委員会構成のメンバーは、保護者、学校、教育委員の代表とし、第1回の検討委員会を9月

19日に行うこととした。

Q 第1回の検討委員会での協議内容は？

A 今後の委員会の協議を進め方を確認し、具体的な見通しを立て、学期毎に1回程度の予定で開催を提案していくこととした。

Q 検討委員会の開催回数、学期毎に1回では少なくないか？

A また、調理施設の場所、調理終了から食事終了までの時間制限をどうクリアしていくのか？

A 開催回数は、委員会での検討状況をみて考えていく。協議プランとしては、中学校に調理場を新設する案、現在の

小学校の調理場を併用する案、現在のお弁当を継続する案、給食業者を利用する案等、多様な方式を生徒、保護者、学校等の視点により検討し、真鶴町にあった給食の在り方を考えていきたい。

Q 生徒、保護者へのアンケート調査の実施予定はあるか？

A 検討委員会で提案したい。

Q 検討委員会での結果公表の目途はいつごろか？

A 平成27年度末を予定している。





黒岩 範子
議員

Q 子ども子育て支援新制度について

①事業計画の進捗状況はどうなっているのか？

②町立ひなづる幼稚園・私立保育園の2園に対する影響はあるのか？

待機児はないそうだが、保育士の有資格者の配置や保育料についてはどうなるのか？

障害児の入園についての対応はどうなるのか？

③放課後児童クラブは、現在 小学校3年生までだが、新制度では6年生までが対象となる。

共働きの子育て世代を応援するためにも保護者負担の軽減、指導員の待遇改善に向けた計画をたて、予算化すべきでは？

A ニーズ調査に基づき素案を子ども子育て会議にはかり年度末に提示予定である。

当町の場合、幼稚園・保育園の許可定数225人に対し25年度0歳～5歳児は210人なので幼稚園・保育園ともに従来どおりで変化は考えにくい。

保育士の支援充実を計り、保育料は所得に応じた負担が基本で減免規定も継続する。

障害児の入園については養育支援が必要な家庭に対し、早期の段階から実施を確保する。

放課後児童クラブの保護者の負担については近隣市町村の動向を注視し、検討していく。

Q 就学援助制度は義務教育は無償とした憲法26条などの関係法律に基づいて小中学生のいる家庭に学用品や入学準備金などを補助している。

当町の「主要保護」世帯の認定基準は生活保護基準の1.5倍である。

1.3倍の他町がある中で、大いに評価したい。

①国の生活保護基準・消費税の増税との連動はあるのか？

1.5倍を継続すべきだ。

②平成17年度から「就学援助法施行令」の民生委員の助言を求める事ができるといふ文言が削除された。

当町でも「民生委員の意見」は必須要件でなくともよいのでは？

③国は平成22年度からクラブ活動費・生徒会費等の項目を追加しているが町としての対応は？

A 国の生活保護の認定基準を引き下げることに連動せず1.5倍を継続したい。

民生委員の助言は、子どもたちの成長を支える効果もあるので継続する。クラブ活動費などは教育予算全体で検討する。

Q 1984年6月真鶴町非核平和都市宣言が決定され今年で30年。

町民の協力で核兵器廃絶を願う記念行事の実施をしてはいいか？

A 終戦70年を迎える来年が効果的だ。

住民の自主的な事業として内容もよく相談し、支援していきたい。

一般質問



田中 俊一
議員

Q 防災・減災政策実現に向けた路面下空洞調査

ら、今、社会問題になっているインフラの老朽化だが、路面下の空洞により突然発生する路面の陥没は人命に関わる重大事故につながる危険性がある。

下水道管の老朽化による破損や海岸に沿った道路では、老朽化した護岸から水位の変動によって内部の土砂が流出して発生すると考えられる。

防災・減災による安全で安心な社会基盤を再構築するためにも、路面下の空洞といった日常のパトロールでは異常を発見することが困難の個所について、しっかりとした点検と点検に基づく早急な対策が必要であるが、今後の取り組みを伺う。

A 真鶴町では、過去に路面下空洞調査はないが路面の状態を調査する、路面性状調査を現在行っている。

平成26年と27年の2年にかけて、町道の幹線道路16・5キロを実施する予定である。

その調査項目として、路面のひび割れ度、わだち掘れ、縦断方向の凹凸等を判定するもので、路面及び舗装の異常から、路面陥没危険個所の判定が必要であれば空洞調査を実施する。

マンホール及び管路施設の老朽度は平成4年からの町の下水道事業であり他市町に比べると路面陥没の危険度は低いものと考えられる。

また、水道施設については、ある程度年数を経過した水道管があるので順次敷設替える。

Q 確かに、寿命までではないが、建設時には予想しなかった環境の変化によりインフラでは劣化損

傷が短期間で進む。

近年では地震、台風、ゲリラ豪雨等の自然災害が多発している。

穴が開いたからそこを直していく事後保全でなく、陥没事故を未然に防ぐことが第一である。

国でも路面下空洞調査を交付金で実施する方針も決定された。

そのひとつの手法として、スケルカと言う高精度道路スキャナ法がある。これは高解像度マイクロ波装置を高密度に配置することにより道路下の空洞等の撮影をし、危険個所を見つけ出すものである。

いざという災害時には緊急輸送路から病院や消防署、役場、広域避難所等に向かう周辺道路を優先的にサンプリングされるのが望ましいと考える。

A 路面性状調査の結果を待つ必要であれば、レーダー等により実施することになる。



高橋 敦
議員

真鶴駅前改修進捗状況

Q 駅前ロータリーの構造改良について、具体的な絵はどの程度まで描けているか？

A 陸の正面玄関としてのしつらえのあるまちづくりを展開するため、駅前駐輪場の有効活用、跨線橋のエレベーター設置、ロータリーの縮小、タクシーやバスのモータープールの配置等について検討し、交差点改良と合わせて、町の提案を行っていく。

Q 町の意見をいかに盛り込んでいくかが大切だ。

A 小田原土木センターに町としての考えをぶつけ、きれいで、安全安心な環境づくりに向けて進めていく。

ICT（情報通信技術）を活用した子どもたちの交流事業

Q ICT技術や環境整備が進んだ今日、教育用パソコンにWebカメラを接続することで、学校の距離を超えた共同授業やWeb文化祭の開催、お互いの地域特性を学ぶ、学習成果を発表しあうなど、コストを抑えた交流事業ができる。

A 総務省や文部科学省のフューチャースクール、ドリームスクール構想は、これからの教育体制の一つの方向性を示すもので、積極的な取組が有効かつ必要と考えるが？

A 学校教育の中でのICTを活用した教育システム作りは、今後の教育指導の在り方、教育体制の在り方を考えていく上で大事な分野だ。

例えば、情報センターを活用し、放課後や休日に、子どもたち同士の交流を図っていくことが可能であり、生涯学習の一つとしても検討していく。

島根県隠岐郡海士町との交流事業開始

Q 今後、他自治体と提携を結ぶ予定は？

A 島根県海士町は、地域再生モデルとして全国にその名を知られ、

町政の経営方針として「自立・挑戦・交流くそ」を掲げ、地域再生へ挑戦をする事業を展開されており、その取組みを学ぶことは、真鶴町の地域振興を図るうえで有意義なものであり、交流を深めていこうと考えている。

しかし、その立地条件から、人が行き来する交流を中心にすることは難しく、費用ばかりがかかり実利に乏しいものとなってしまうおそれがあることから、インターネットによる交流事業の展開が、両町の交流を深めるための手法として最も効果的であると考えており、行政間の交流だけでなく、産業や住民交流に広がり、そして友好提携につなげていきたい。

一般質問



板垣由美子
議員

コンビニ納付は便利ですが「納税者の納付しやすい環境づくりと収納対策について」

Q 住民に対する様々な行政サービスを行うための財源である税の確保は近年益々重要となっている。

それには収納手段の多様化や利便性の向上を図るなど、納税者にとって納付しやすい環境づくりを進めることにより滞納の新規発生の抑制・長期にならない対策を進める事が大切だ。

納税者が時間を気にせずいつでも納付でき便利でなコンビニエンス・ストアにおける委託収納は？

A 平成25年度の税制改正で納税者の利便性の向上を図る等の観点から地方税の収納事務の民間委託が認められ、近年

コンビニエンス・ストアに収納委託を行う地方自治体が増加している。

納税場所・方法の窓口を広げ納付しやすい環境を整えることは、滞納の防止につながるばかりでなく納期限に収めている方々の利便性の向上のためにも必要な事と考える。

現在、導入に要する経費などを調査しているところだが、効果に見合うものかどうかをさらに見極めつつ導入に向け検討していく。

Q 長期滞納に至らないための相談体制について？

A 早期に滞納の芽を摘む事は滞納対策において重要なポイントだ。

滞納者との接触の中で滞納の解消に向けて相談体制をとっている。

支えあう共生社会へ！

「地域包括ケアシステム構築への取り組みについて」

Q 2025年には団塊の世代が75歳以上と

なり超高齢社会を迎える。

医療・介護需要の急増が予測され、本町においても高齢者が安心して暮らせる地域包括ケアシステムの構築が急がれる。

構築の第一歩となる医療介護総合確保推進法が成立し、ごみ出しなど要支援者の多様なニーズに対応できる様になるが、サービスの担い手となる事が期待されるNPOや自治会などの支援・育成や介護支援ボランティア制度の導入については？

A 高齢者生活支援を構築する事は町の重要な課題だ。

高齢者の生活支援のニーズ調査も行った。

生活支援サービスを構築する中でNPOや自治会等の支援・育成、介護ボランティア制度の導入も不可欠だが現在サービスを受けているホームヘルパー、デイサービス等

これまでと同様に行っていくことも重要だ。

町社協を中心とした諸団体と連携した地域福祉の拠点を考えている。



二見 和幸
議員

「美の町」「居住者」を守るために「空き家条例」の制定を

Q 地方では空き家が増え、7軒に1軒が空き家という状態にある。

真鶴町は、高齢化率が高くなり、家を継ぐ者もなく、ますます空き家が増加傾向にある。

町では空き家の状況を把握しているのか伺う。

家が空き家になると、「老朽化による倒壊」「建築材の飛散」「不審者の侵入や放火の恐れ」「草木の繁茂等による生活環境の悪影響」などが

起き、管理されていない空き家は、周辺の住民に迷惑をかけるし、半島方面には別荘が多く、し尿などの異臭も迷惑だ。

また、空き家を解体しない方が得をする税の制度などにも問題があると

考える。

町は、20年前に「美の原則」「美の基準」などを掲げた条例を作ったが、この条例は、家など建てるときに、一方通行のように思える。

いま、これらの対策のため、住民の快適な暮らしを約束し美の町を守っていくためにも「空き家条例」の制定が必要と考えるが？

A 真鶴町の空き家・空き地は23年度末で、空き家182軒、空き地372件を確認している。

また、町のホームページでは、空き家・空き地情報を掲載し、26年8月現在で、延べ108件の物件を掲載したうち、42件の契約が成立しており、不動産事業者などにも有効活用をお願いしている。

近年、他市町村でも空き家の適正な管理を含めた条例の制定がなされているので、その動向や成果を見極め、町内の実情を勘案し、制定に向けて検討していきたい。
なお、草や木の繁茂な

どの苦情には、所有者を確認し、手紙を送付するなどして、対応依頼を行っている。

Q 真鶴町の空き家は約20軒に1軒で全国平均より低いですが、管理されていない空き家は把握しているか？

A 把握は出来ていない。

Q 国の推計では、2019年をピークに世帯数が減り始め、将来的に空き家の増加は避けられないと発表している。

住民などからの苦情も手紙などの対応では効果が弱いと思う。
条例を作り「指導」「勧告」「命令」などできれば効果が上がると考える。

何もしなければ何事も進んでいかない。
美の条例を作っても管理されなければ美ではなくなる。
早急に検討し制定を。

一般質問



光吉 孝浩
議員

「歩行者の安全を最優先にした観光ゾーンづくり」について

A 県道739号線、琴ヶ浜海岸付近にあるガードレールが途中で途切れてしまっていることについては、平成5年から神奈川県が行った琴ヶ浜港湾海岸環境整備事業により、海岸線の遊歩道や堤防設置工事により、道路の海側が整備された。

工事区域の外側にあったガードレールが、そのまま残ってしまったと考えられる。
ガードレールの外側に歩くスペースができたことにより、観光客が戸惑う場面があるので、神奈川県に対して、歩行者の安全性の確保について要望している。

バス停については、バス会社の路線申請時のまま、以前は道路の海側に飲食店の店舗があり、駐車場の一部がバス利用者の滞留場所となっていた。しかし、海岸整備工事に伴い、飲食店が移転し、当時と周辺の状態が変わったため、現在の状態になった。
利用者の安全性の確保のため、琴ヶ浜駐車場で乗降できるように神奈川県とは協議済みで、バス会社に対して、改善を要望していく。

まで、以前は道路の海側に飲食店の店舗があり、駐車場の一部がバス利用者の滞留場所となっていた。しかし、海岸整備工事に伴い、飲食店が移転し、当時と周辺の状態が変わったため、現在の状態になった。

町では、県や警察と合同で点検を実施しており、問題個所の抽出や改善点の提案等を行っている。交通管理者である警察からは横断歩道の設置場所の移動は難しいと言われ、根本的に交差点改良を行う必要がある。

Q 停止線や黄色の信号を設置はできないのか？

A 警察の見解としては黄色の注意喚起の信号等の設置は現在の道路環境では設置は難しい。今後引き続き、安全対策について県また警察に対して要望していく。



琴ヶ浜 里地バス停付近

「真鶴町駅前国道135号線の横断歩道の安全への取組み」について

A 歩行者数と通過車両数から危険な場所



駅前横断歩道

議長の部屋



青木 蔵

「町の財政は、どうなの？」

9月9日定例会が開催され、平成25年度決算の認定と今年度補正予算の審議を行いました。

決算書の特徴は、平成25年度は1億5000万円の繰越金がありました。

26年度の補正額では、財政調整基金に8000万円と予備費に1500万円が追加されました。

主な要因は、昨年度歳入が4500万円増え、歳出では支出抑制等により1億円の不用額が生じたことにあります。

今までは、基金の取り崩しにより歳入を補ってききましたが、25年度の歳入では、基金の取り崩しはせず、地方交付税などの増額と歳出で総務費、民生費、予備費などの不用額から生じた繰越金に

より、今年度は財政調整基金に積み立てをしています。

「財政調整基金」とは、一般財源不足を補うため将来の不足を見越して今積み立てる貯金です。

私の調査したところ、一般会計における財政調整基金の「適正規模」は、真鶴町の標準財政規模21億円の10%程度あれば突然の財政出費に対応できると考えました。

財政担当に質問したところ、我が町の財政状況では、将来負担を考えると、2億円の基金（貯金）は厳しいとの回答がありました。

将来負担が増える要因は、ごみ処理、下水道事業への設備投資にかける起債が増加し町財政の弾力性が低下する可能性があります。

平成25年度の経常収支比率は、87・3%で、経常収支比率は低いほど財政に余裕があるということになります。

公債費を除く経常収支比率は71・4%で、公債

費を少しでも削減し、町債発行を抑え弾力性ある財政運営で新事業に投資ができると考えます。

旧梅原水産跡地に整備する（仮称）真鶴産業観光活性化センター整備事業については、4500万円をかけて12月にオープンする予定で、農業・水産業・石材業や商店街と連携により体験型の観光を構築し、またイベントの開催などにより町を元気にする事業です。

県から「新たな観光の核づくり等促進交付金2000万円」が交付され、町の起債は1150万円減り、1170万円になりました。

町に対して、町内外から若者のアイディアを取り込み、町おこしの起爆剤になるよう議会から提案してまいります。



行政視察報告

議会運営委員会では、真鶴町議会におけるICT化促進についての調査研究のため、7月22日に、議会活動にクラウドシステムを導入している先進地、逗子市議会への行政視察を行いました。

逗子市議会では、ICT（情報通信技術）環境の整備推進を通じ議会改革に取り組んでいます。

平成25年度より「クラウド文書共有システム」を導入、全議員がタブレット端末を使用して、議案書などの書類や会議通知、市からの行事案内などの情報の共有を図っており、それらにより、ペーパーレス化を進めています。

また、ICT環境の整備推進を行うために、有志議員によりICT推進部会が設立されていて、全国からの先進地視察に説明員として対応するなどされています。

真鶴町議会では、現在、議会だよりの編集作業にドロップボックスを使用

していますが、その事も含め、充実した質疑を行うことができ理解を進める事ができました。

費用対効果や導入へのメリットデメリットを見極めながら、更に調査研究を進める事が大切だと思いました。

これからも議会運営委員会において、議論を深めてまいります。

議会運営委員会
委員長 板垣由美子



編集後記

大震災から3年半が過ぎた。

2万人以上の人が死亡し、行方不明になるという出来事が起きた。

ある日突然数千人もの人が行方不明になるというようなことは、久しく起きていなかったことだと思う。

ある人は「日本は吊橋の上にあるようなものだ」と語ったが自分の日常の足元にあるリスク、日常性の中に忍び寄る不安というものを人々は強く自覚せざるを得なくなった。

そこから自分自身のこと、家族のこと、生活する地域のことを・・・

防災の月、9月に思う。

議会広報特別委員会

委員 田中 俊一

議会広報特別委員会

委員長 村田 知章
副委員長 光 吉 浩
委員 田中 俊 一
黒岩 範 子
高橋 克 美
岩本 美